

書き下し文 (1)

今日の学習

漢文を訓点に従って漢字とひらがなを用いて書き改めたものを、書き下し文という。

書き下し文

① 送りがなのかたかなはひらがなに直す。歴史的かなづかいに従う。

【注意】 キーぬ エー系 ヲーを

② 返り点や熟語棒は、書き下し文には書かない。

③ 文語文法の助詞・助動詞にあたる語はひらがなに直す (第3日参照)。

助詞にあたる語

「は」者

「の」之

「と」与及

「より」自從 由与

「や・か」乎 邪 耶 也 与 哉 など

「かな」哉 夫

「のみ」耳 而已 而已矣 など

助動詞にあたる語

「る・らる」見 被 為

「しむ」使 令 教 遣 俾

「ごとし」如 若

「べし」可

1 次の漢文を書き下し文に改めなさい。

(1) 聞レ一以知レ十。

(2) 懸ニ羊頭ニ売ニ狗肉一。

(3) 先 即 制レ人、後 則為ニ人所レ制。

(4) 昭王為レ隗 改ニ築宮ニ師ニ事之。

(5) 勿下以ニ惡小一為レ之。

2 次の漢文を、太字の文字に注意して書き下し文に改めなさい。

(1) 楚人有鬻盾与矛者。

(2) 守関者、備他盗出入与非常也。

(3) 書足以記名姓而已。

(4) 得非君殺之耶。

(5) 有朋、自遠方来、不亦楽乎。

(6) 司馬仍為送老官。

(7) 旁若無人者。

(8) 糞土之牆不可朽也。

(9) 不足為外人道也。

(10) 欲使大信行天下。